

スクール（学校）ソーシャルワーク演習

[演習] 第3学年 通年 選択 S S W必修 1単位

《履修上の留意事項》面接授業と遠隔授業の併用実施

《担当者名》○福間 麻紀 松井 祐子（非）

【概 要】

本科目は、スクールソーシャルワークの相談援助技術について、基礎となる理論・知識を理解したうえで、事例研究やロールプレイを通して、実践的に習得する。

特に子どもと子どもを取り巻く環境とそこで生じている問題を理解するためのアセスメント技術を教育現場・地域社会の現状を理解し、実践的に有効な支援計画を立案する能力の習得を目指す。

【学習目標】

- ・子どもと子どもを取り巻く環境とそこで生じている問題を理解するためのアセスメント・プランニング技術を習得し、各自が事例に基づいて、ミクロ・メゾ・マクロを考慮したアセスメントと支援計画を作成できる。
- ・事例を通して支援に必要となる法律や制度、教育・福祉サービスを含む社会資源の理解を深め、それらを実践的に活用するための方法を検討できる。
- ・教員や教育関係者、行政担当者等の他職種の役割や機能を理解し、子どもと家族、学校、地域社会を含めたチームアプローチを検討できる。

【学習内容】

回	テーマ	授業内容および学習課題	担当者
1	オリエンテーション S S Wとは何か	・授業内容・進め方の説明 ・スクールソーシャルワーク(S S W)の概要を説明できる。	松井
2	学校が抱える課題	・学校におけるソーシャルワーカーがどのような役割を学校、家庭、地域に対してもっているのかを説明できる。 ・学校のもつ社会資源としての可能性と課題を説明できる。	松井
3	学校ソーシャルワークの支援方法 1	・学校ケースマネジメントの展開を説明できる。 ・スクールソーシャルワークにおけるアセスメントのポイントを説明できる。	松井
4	学校ソーシャルワークの支援方法 2	・事例を用いて、アセスメントシートを作成することができる。	松井
5	学校ソーシャルワークの支援方法 3	・事例を用いて、ジェノグラム・エコマップを描くことができる。	松井
6	学校ソーシャルワークの支援方法 4	・事例を用いて、支援計画シートを作成することができる。	松井
7	不登校の子どもへの支援	・不登校の事例を検討し、アセスメントと支援計画を作成することができる。 ・長期目標、短期目標を設定することができる。	松井
8	児童虐待を受けている子どもへの支援	・児童虐待の事例を検討し、アセスメントと支援計画を作成することができる。 ・アセスメントと支援計画に必要な情報を整理分析することができる。	松井
9	非行の子どもへの支援	・非行事例を検討し、アセスメントとエコマップを作成することができる。 ・事例を振り返り、判断に必要な情報と関係機関との協働について検討することができる。	松井
10	実践事例による支援理解 1	・知的障害の疑いがある不登校児への支援の方法を検討することができる。	松井
11	スクールソーシャルワークにおける社会資源の活用	・スクールソーシャルワーク実践における社会資源の強みと弱みについて説明できる。	福間

回	テーマ	授業内容および学習課題	担当者
12	実践事例による支援理解 2	・不登校の背景に存在する環境への支援方法を検討することができる。	福岡
13	精神疾患の子どもや親への支援	・精神疾患のある子どもや保護者のアセスメントと支援計画を作成することができる。 ・関係機関との連携の方法について検討することができる。	福岡
14	特別支援教育の子どもへの支援	・特別支援教育の子どものニーズを把握し、支援を検討することができる。 ・教員や専門機関との協働を検討することができる。	福岡
15	貧困家庭の子どもへの支援	・貧困家庭の事例について、アセスメントを行いニーズを把握することができる。 ・ケース会議を想定した情報提供を行うことができる。	福岡

【評価方法】

レポート60%、グループにおける参加度（意欲・姿勢）40%

【備 考】

教科書：門田光司・鈴木庸裕編著「ハンドブック学校ソーシャルワーク演習—実践のための手引き—」ミネルヴァ書房（2010）

参考書：日本学校ソーシャルワーク学会編『スクールソーシャルワーカー養成テキスト』中央法規（2008）
他の参考書は講義内で紹介する。

その他：スクールソーシャルワーク教育課程では専門科目群「スクール(学校)ソーシャルワーク演習」に該当する。

【学習の準備】

- ・次回授業で使用する事例にでてくる用語や制度等について、事前に調べまとめること（80分）。
- ・授業後にテキストや配布資料をもとに事後学習を行い、技術の習得に取り組むこと（80分）。

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

DP2,1,3,4,5

【実務経験】

福岡麻紀（社会福祉士）、松井祐子（社会福祉士）

【実務経験を活かした教育内容】

教育機関におけるスクールソーシャルワーカーとしての実務経験を活かし、貧困、児童虐待、不登校、いじめ、非行などの子どもを取り巻く状況が複雑化・深刻化している現状において、問題解決に有効な支援の基礎となる姿勢、知識、方法等を事例研究やロールプレイ等の実技指導を用い、実践的な教育を行う。